

第2回定例会報告

5月20日に行った第2回定例会（研修）の報告をいたします。

今回は公共測量作業規定に基づき基準点測量についての研修を行いました。

基準点測量の基礎となる2対回観測を手書き手簿で観測し、2対回観測の意義の確認や再測の判定、距離の補正計算を手計算で行いました。

基準点測量についてのおおまかな講義をし、会員から普段疑問に感じていたことを述べていただいたので、参加者で討論になりました。

規定や条文に立ち返ることや運用の兼ね合いなど、結論が難しい話になりました。

今回の研修にあたり、補正計算など器械まかせになってしまっている部分の基になる考え方や、図面に謳う世界測地系の文言の取扱など大いに参考になりました。

6月は第2回任意会とし新調査報告書に関することを題材にします。

実際に使ってみて、機能面での自分なりの使い方やマニュアルには載っていない上手いやり方などを報告しあって、青調会独自の裏マニュアルのようなものを作りたいと考えています。またそれを東京会との合同研修会に発表したとも考えています。

日程は未定ですが、土地、建物問わずに新調査報告書をいじり倒しておいてください。

作成済みの旧調査報告書を参照にしながらだと感じがつかみやすいと思います。

以上、よろしく申し上げます。

